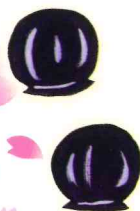


特別展

開館45周年・建物築150年記念

仙台駄菓子と

石橋屋



石橋屋外観

2024年11月23日(土・祝) — 2025年4月13日(日)

この特別展では駄菓子など食品類の試食・販売等はありません。

公益財団法人 仙台市市民文化事業団
仙台市歴史民俗資料館

Sendai City Museum of History and Folklore

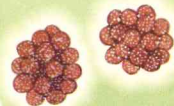
〒983-0842 仙台市宮城野区五輪1-3-7(榴岡公園内) 電話022-295-3956 / FAX022-257-6401
ホームページ: <https://www.sendai-c.ed.jp/~bunkazai/~rekimin/index.html>
E-mail: folkmuse@deluxe.ocn.ne.jp

【入館料】一般・大学生240円(190円) 高校生180円(140円) 小・中学生120円(90円)

※()は30名以上の団体料金
※「どこでもパスポート」を提示の小・中学生は無料です。
※仙台市内にお住まいで65歳以上の方は無料です。

【開館時間】午前9時～午後4時45分(入館は午後4時15分まで)

【休館日】毎週月曜日(休日をのぞく)、休日の翌日(土・日・休日をのぞく)、
毎月第4木曜日(12月をのぞく)、年末年始(12月28日(土)～1月4日(土))



特別展

仙台駄菓子と石橋屋

2024年11月23日(土/祝)～
2025年4月13日(日)

仙台的食文化を特徴づける言葉の一つである「仙台駄菓子」は、昭和30年代に広く語られるようになりましたが、これは戦前から各地の駄菓子を調査し続けた石橋幸作の研究成果によります。石橋は仙台の駄菓子屋「石橋屋」を経営する職人でありながら、駄菓子研究に心血を注ぎ、後世にさまざまな研究成果を残しました。この特別展では2023年5月に閉店した石橋屋から寄贈された資料を中心に展示し、仙台地方の食文化の一端である「仙台駄菓子」についてご紹介します。

※この特別展では駄菓子など食品の実演や試食販売等はありません。

〔関連イベントのご案内〕

※仙台市歴史民俗資料館でのイベントでは入館料がかかります。

①は参加自由(申込不要)、②③はe-mailまたは往復はがきによる事前申込制です。

① 展示解説 参加自由

特別展の内容を学芸員がわかりやすく説明します。

日時 2024年(令和6)11月23日(土/祝)
2025年(令和7)1月18日(土)・2月15日(土)・
4月13日(日)の各日11:00～、14:00～

② 講座

「仙台藩の菓子 ～伊達家の贈答儀礼から～」

日時 2024年(令和6)12月7日(土)13:30～15:00
会場 仙台市歴史民俗資料館
講師 籠橋俊光氏(東北大学大学院教授)

定員 30人(事前申込制、締切11月29日(金)必着)

③ 講演会(仙台市博物館共催事業)

「石橋幸作の駄菓子研究 ～「鳩パンの由来」から見えて来るもの～」

日時 2025年(令和7)3月29日(土)13:30～15:00
会場 仙台市博物館ホール
講師 佐藤敏悦氏(東北民俗の会・前会長)

※仙台市博物館の駐車場には限りがあるので、
仙台市地下鉄東西線または「るーぶる仙台」
のご利用をおすすめします。
※博物館の入館券は不要です。

定員 200人(事前申込制、締切3月21日(金)必着)

※講演会に関する問い合わせ、申込はすべて
仙台市歴史民俗資料館にお寄せください

②③のイベント申込方法 往復はがき、またはe-mail
(宛先 folkmuse@deluxe.ocn.ne.jp)で、希望講座名と
お名前、ご住所、ご連絡先を明記の上、それぞれの応募
締切日までにご応募ください。申込多数の場合は抽選と
なります。

◆同時開催のお知らせ

12/14(土)～2/2(日) 季節展示「仙台の正月」
12/14(土)～1/19(日) 冬のクイズラリー
2/15(土)～3/23(日) 季節展示「ひな祭り」
3/1(土)～3/30(日) 被災地関連展示

◆会期中のその他のイベント

1/12(日) 紙芝居「おらいのお正月」
2/23(日) たんけん資料館(れきみんバックヤードツアー)
3/15(土) 紙芝居「東日本大震災ものがたり」
3/22(土) 紙芝居「宮城の昔話」
3/30(日) 街頭紙芝居の上演
詳細はHPをご覧ください

◆次回企画展のお知らせ

2025年(令和7)4/26(土)～7/6(日) 企画展「はきもの民俗」

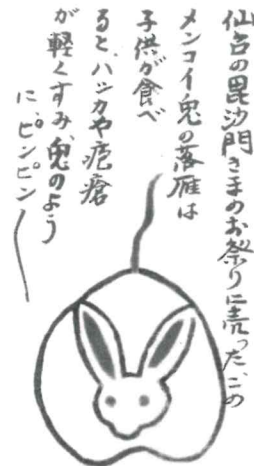


熊耳耕年「芭蕉の辻図」に描かれた
吹き飴売り 1928年(昭和3)

芭蕉の辻は仙台北門から続く大町通と奥州街道が直交する場所で、江戸時代の仙台北下では最もにぎわう場所として知られました。幼い頃に見た芭蕉の辻の光景を描いた、この絵には吹き飴売りのほかにも駄菓子を売る行商人が見られ、駄菓子が身近な日常の光景であったことを示しています。

石橋幸作「駄菓子図譜」に描かれた
「うさぎ落雁」
1971年(昭和46)

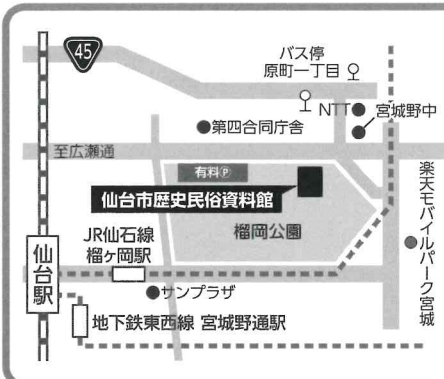
この落雁は仙台北下・荒町の毘沙門堂の縁日で売られ「子供が食べるとハシカや疱疹が軽くすみ兔のようにピンピン」と記しています。石橋幸作は数々の駄菓子を機能や目的で分類し、駄菓子を民俗学的な知見から分析しました。この「うさぎ落雁」は信仰にちなんだ「信仰駄菓子」として分類されています。



石橋屋の店内
2023年(令和5)
3月撮影

石橋屋は明治18年(1885)に仙台市元荒町で創業しましたが、昭和20年(1945)7月10日未明の仙台空襲の被害に遭い移

転。仙台市若林区舟丁にあった店舗は昭和26年(1951)に建築されました。平成14年(2002)には「杜の都景観重要建造物」に指定されましたが、東日本大震災以降の度重なる余震被害により令和5年(2023)5月25日に閉店しました。



【交通案内】

- JR: 仙石線「榴ヶ岡(つつじがおか)駅」下車徒歩約7分
 - 徒歩: 仙台駅東口から徒歩約20分
 - バス: 仙台駅西口青葉通、三井住友信託銀行前付近・仙台市営バス50番、51番乗り場から乗車、またはロフト前・仙台市営バス18番乗り場から乗車、いずれも「原町1丁目」下車、徒歩約7分
- ※自家用車の方は公園駐車場(48台・有料)をご利用下さい。